

英国の揺るがない 投資先としての魅力 ～EU離脱の結果を受けて～

駐日英国大使

ティム・ヒッチンズ

Tim Hitchens



英国は、6月23日に国民投票においてEU離脱と
の結果を出しました。メイ首相は、離脱のために
必要なEUの基本条約（リスボン条約）第50条を今
年中は発動しない意向です。今後の英国とEUの関
係性を早期に明確にするよう求める声も聞かれま
すが、日本企業の利益を英国企業同様に守るため
にも、十分な時間をかけて最良の条件を確保する
ことが重要であると考えています。私たちは、国
民投票の直後から、経団連やJETRO、東京・大
阪・名古屋の日本企業の皆様と積極的に意見交換
を行ってまいりました。

国民投票から1カ月以上が経ち、投票直後にみ
られた市場の混乱も落ち着きを取り戻しています。
そして、改めて英国は、外国資本にとって魅力的
な場所であり続ける、と考えています。

まず、英国の経済規模は世界第5位です。近年、
英国経済はG7中最も高い成長率を誇っており、世
界で最も強い主要先進経済国のひとつです。来年
には法人税率を19%まで下げる予定です。英国の
失業率は過去10年間で最も低く、就業率は記録的
な高さです。世界で最も柔軟な労働市場を誇り、
高等教育を受けた高い技術力を持つ労働人口は西
欧内で2番目の多さです。

また、ロンドン是世界をけん引するファイナン
シャルハブとして認知されています。金融サービ
スにおけるマーケットシェアは、世界第1位です。
情報通信技術、自動車、医療など世界から高い評
価を受けている産業が英国には多数あります。

新規事業分野でのイノベーションも進んでいま
す。フィンテックからサイバーセキュリティ、自動

運転技術において英国は先頭を走っています。
2015年には、42万を超える新しいビジネスが英国
で起業されました。

さらに、世界をリードするR&Dの環境を備えて
おり、世界の上位10校の大学のうち4校が英国に
あり、自然・物理科学分野のノーベル賞受賞者は
80名を数えます。

英国政府の今後の役割は、こうした強みを維持
しながらEUやパートナー国とより強い関係を築き
上げることです。

現在、貿易・投資政策における英国の直近の優
先事項は3つです。

まず、移行・交渉期間中の不確定要素を最小限
にすること。次に、英国とEUの関係を新たなビジ
ネスニーズに合ったものにすることです。これに
は、皆様からのご意見やご要望が非常に重要です。

そして、世界に開かれた英国を維持すること
です。英国は、新たな枠組みの中で、引き続き世界
貿易国として、また開かれた経済・市場を持つ国
として、公平で自由なビジネス環境を維持してい
きます。

また、EUを離脱するその日まで、英国はEU加
盟国であり、HEU・EPAの強力な支持者として、
年内合意を目指します。

英国は、欧州でNo.1の海外からの投資先です。
なかでも、昨年、英国に投資をされた国で2番目
に大きかったのは、日本です。皆様のご懸念点を
よく理解し、ともにビジネスに強い国と環境を構築
していきたいと考えています。

(2016年8月8日記)